

# 楽天新設 安来市が依頼

インターネット通販大手・楽天（東京都）のふるさと納税専用サイトに新設する安来市の返礼品紹介ページを、県立情報科学高校（安来市能義町）の3年生が作成することに

なった。同校で31日、初めての講座があり、生徒が楽天の担当者から、インターネットでの商品価値の効果的な伝え方などを学んだ。

（佐伯学）

## 返礼品紹介ページ 10月完成へ講座で学ぶ



平本賢文さん（右）から商品価値の伝え方を学ぶ情報科学高の生徒

サイト名は「楽天ふるさと納税」。寄付の申し込みができ、返礼品を選べる。安来市は7月、ふるさと納税のPRページを開設す

る予定で、返礼品紹介ページの作成を同校に依頼した。同サイトの返礼品紹介ページを高校生が作るのは初

# 情報科学高生が納税サイト

めで、「楽天班」の3年生30人が取り組む。

この日は楽天市場ECCコンサルタントの平本賢文さん(27)が、インターネットショッピングを例に、商品価値を伝えるポイントを説明した。形状や仕様、優位点に加え「商品を買うこと

で、買った人がどのように幸せになれるのかを伝えてほしい」と顧客の立場に立ってPRする必要性を伝えた。

生徒は月1回のペースで平本さんからマーケティングの基礎やページの作り方を学び、10月の完成を目指す。マルチメディア科の岩崎翔太さん(17)は「多くの人をひきつける魅力的なページを作りたい」と話した。